（別紙様式4）

令和8年10月1日

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地
大原簿記ビジネス専門学校福岡校	平成2年4月1日	阿波谷　亮治	〒　812-0026 （住所）　福岡市博多区上川端町14-13 （電話）　092-271-2285

設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地
学校法人　大原学園	昭和54年4月1日	中本　毎彦	〒　101-0065 （住所）　東京都千代田区西神田1丁目1番3号 （電話）　03-5261-7717

分野	認定課程名	認定学科又は専攻科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度
商業実務	商業実務専門課程	総合ビジネス学科4年制	－	平成17(2005)年度	令和 4(2022)年度

学科又は専攻科の目的	教育基本法及び学校教育法に基づき、簿記会計・税務並びにこれらのビジネスに関する教育を施し、人格の陶治を行い、もって有為な産業人を育成することを目的とする。
学科又は専攻科の特徴（取得可能な資格、中退率　等）	〈取得可能な資格〉 公認会計士、税理士、日商簿記検定、全経簿記検定、電卓検定、漢字能力検定　等

修業年限	昼夜の別	全課程の修了に必要な総単位数	講義	演習	実習	実験	実技
4　年	昼間	124　単位	641 単位	152 単位	4 単位	0 単位	0 単位

学生総定員	学生実員(A)	留学生数（学生実員の内数）(B)	留学生割合(B/A)	中退率
100 人	101 人	0 人	0 %	3 %

就職等の状況

■卒業者数 (C)	8	人
■就職希望者数 (D)	7	人
■就職者数 (E)	7	人
■地元就職者数 (F):	7	人
■就職率 (E/D)	100	%
■就職者に占める地元就職者の割合 (F/E)	100	%
■卒業者に占める就職者の割合 (E/C)	100	%
■進学者数	0	人

■その他

アルバイト、家事手伝い等

（令和　　7 年度卒業者に関する令和８年５月１日時点の情報）

■主な就職先、業界等

（令和7年度卒業生）

税理士法人、税理士事務所　等

当該学科又は専攻科のホームページURL	https://www.o-hara.ac.jp/senmon/school/fukuoka/

企業等と連携した実習等の実施状況（A、Bいずれかに記入）

総単位数		124 単位
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数	0 単位
	うち企業等と連携した演習の単位数	14 単位
	うち必修単位数	14 単位
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数	0 単位
	うち企業等と連携した必修の演習の単位数	14 単位
	（うち企業等と連携したインターンシップの単位数）	0 単位

教員の属性（専任教員について記入）

① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者	（専修学校設置基準第41条第1項第1号）	0 人
② 学士の学位を有する者等	（専修学校設置基準第41条第1項第2号）	2 人
③ 高等学校教諭等経験者	（専修学校設置基準第41条第1項第3号）	0 人
④ 修士の学位又は専門職学位	（専修学校設置基準第41条第1項第4号）	0 人
⑤ その他	（専修学校設置基準第41条第1項第5号）	2 人
計		4 人

上記①～⑤のうち、実務家教員（分野におけるおおむね５年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定）の数	0 人

1.「専攻分野に関する企業、団体等（以下「企業等」という。）との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

〇教育課程の編成（授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。）における企業等との連携

（1）教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針及び教育課程編成委員会等の位置付け

a.教育課程編成委員会を年2回以上開催しているか。	している
開催日時実績	第1回　令和7年8月7日　16:00～16:50/第2回　令和7年12月11日　16:00～16:50
b.教育課程編成委員会に、以下①～③の類型に該当する企業等委員が参加しているか。 ※①から③において、①又は②から1人、③から1人が委員として参画している場合、「している」を選択。 ※①又は②から1人、③から1人が委員として参画していない場合、「していない」を選択。	している
①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）	
②学会や学術機関等の有識者	
③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員	
c.学校の教育課程編成の責任者が委員参加しているか。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.教育課程編成委員会の議事を記録し、学内回覧等しているか。	している
f.企業等委員の意見を教育課程編成見直しに反映しているか。	している
g.次の教育課程編成委員会に、教育課程編成の見直し結果等を報告しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和8年9月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
脇山　博幹	九州北部税理士会福岡支部　福利厚生役員	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	①
中村　真太郎	九州北部税理士会福岡支部　理事	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	①
冨岡　美穂	冨岡美穂税理士事務所　所長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	③
吉竹 知恵美	イオン九州株式会社 イオンショッパーズ福岡店長	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	③
小関　親史	ANAクラウンプラザホテル福岡 人事部　部長	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日（2年）	③
堀之内　健人	ANAクラウンプラザホテル福岡 人事総務　支配人	令和8年4月1日～ 令和10年3月31日（2年）	③
阿波谷　亮治	大原簿記ビジネス専門学校福岡校　校長	―	―
瀬戸　孝一	大原簿記ビジネス専門学校福岡校 簿記ビジネス・医療課　課長	―	―

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
（当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「－」を記載してください。）

①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員（1企業や関係施設の役職員は該当しません。）

②学会や学術機関等の有識者

③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

（1）実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針及び実習・演習等における企業等との連携内容

a.実習等又は演習の形態の授業で企業等連携を行っているか。	している
b.企業等と連携を行う際は、企業等との組織的な協定や契約を締結しているか。	している
c.企業等との連携内容を、連携先企業等との文書等で明示的に合意しているか（連携のマニュアル、手引き等定めているか）。	している
d.教育課程や学生の学修成果等に関する現状や情報、データを教育課程編成委員会の委員に提示しているか。	している
e.企業等の講師に対して事前打ち合わせや研修を行っているか。	している
f.企業等連携の実習・演習等の内容を学校側は適切に確認しているか（教員の見回り実施、実習日誌の作成等）。	している
g.企業等連携の実習・演習等における成績評価について、企業等と協議を行っているか。	している
h.適切な企業等連携の実習・演習となるよう、必要に応じて連携先企業等を見直しているか。	している

（特筆すべき工夫等）

（2）具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科　目　名	企業連携の方法	科目概要	連　携　企　業　等
経理実務	5. その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	質向上のため、以下の連携を行っている。①実習授業内容構築へのサポート②当該実習授業における評価ポイントの確認③授業方法に関する教員への指導④学生の学修習熟状況の評価	山口一雄税理士事務所
マーケティング概論	5. その他※具体的な連携方法を科目概要欄に記述すること。	質向上のため、以下の連携を行っている。①実習授業内容構築へのサポート②当該実習授業における評価ポイントの確認③授業方法に関する教員への指導④学生の学修習熟状況の評価	イオン九州株式会社 イオンリテール株式会社
ホテル実習Ⅰ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	実際にホテルで働き、ホテルの仕事の理解やお客様への接客方法、社員とのコミュニケーションなど実践的な力を身につける	各実習先企業
ホテル実習Ⅱ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	実際にホテルで働き、ホテルの仕事の理解やお客様への接客方法、社員とのコミュニケーションなど実践的な力を身につける	各実習先企業

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

（1）認定専門課程等の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針
※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

専門的かつ実践的な知識・技能を有し即戦力となる人材を育成するためには、教員一人ひとりが常に実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけなければならない。そのために大原学園教員研修規定に基づき、計画的に下記のとおり教員研修の環境を整える。

①教員に対し学生に指導できるよう実践的な知識・指導スキル研修を身に付けさせる。
②学生が在学中に取得する資格について教員も講習を受講する。
③学外で実施される分野関連講習会を教員が受講する。
④指導力の修得に関する研修を受講する。

（2）研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	教員・教育関係者向け「金融経済教育セミナー」	連携企業等：日本FP協会
期間：	令和7年8月7日（木）	対象：経理本科2年制学科教員
内容	①2学期から実践！ 目標を定めた金融経済教育～実践的な学びのあり方～ ②2学期から実践！ 金融経済教育の実践例 ③パーソナルファイナンス教育（金融経済教育）に関するQ&A	

研修名：	「EUにおけるデジタルインボイス（e-invoice）の最新動向」	連携企業等：株式会社TKC、TKC全国会 中堅・大企業支援研究会
期間：	令和7年8月22日（金）	対象：経理本科2年制学科教員
内容	①海外におけるデジタルインボイスの潮流 ②EUにおけるデジタルインボイス ③対応、特に日本における本社の役割 ④Tax administration3.0とは	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	世代を超えたメンタルヘルスの支援～支援者の“困った”を支える～	連携企業等：福岡県精神保健福祉協会
期間：	令和7年8月12日（水）～令和7年9月23日（火）	対象：経理本科2年制学科教員
内容	①知的障がいを伴わない発達障がい ②「困った人」は実は「困っている人」 ③不安とうつへの診断を越えた認知行動療法の統一プロトコル ④ケアする人も楽になるストレスコーピング	

（3）研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	新リース会計基準×税務・税効果～設例でわかる実務への影響と対応ポイント～	連携企業等：株式会社TKC、TKC全国会 中堅・大企業支援研究会
期間：	令和8年10月30日（金）	対象：総合ビジネス2年制学科教員
内容	①新リース会計基準の概要 ②新リース会計基準の税務への影響 ③新リース会計基準と税務 ④新リース会計基準の税効果会計	

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	世代を超えたメンタルヘルスの理解と支援 ～誰もが孤立しない社会へ～	連携企業等：福岡県精神保健福祉協会
期間：	令和8年8月3日（月）～令和8年10月4日（日）	対象：総合ビジネス2年制学科教員
内容	①発達障害と愛着障害の理解と支援 ②ネット・スマホ(オンラインゲーム・SNS)依存の理解と対応 ③老年期のうつ病、認知症、睡眠障害を学ぶ ④不登校・ひきこもりの子どもたちと共に	

4.「当該専門課程等を置く専修学校において、学校教育法第百三十二条の二第二項の規定により評価を受け、その結果を公表していること。」関係

〇学校関係者評価

（2）「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	
（1）教育理念・目的・目標	
1　教育理念、目的及び目標の設定等	
①教育理念等を踏まえ、当該専門学校としての目的及び目標を明確に設定し、養成する人材像を明確にしていること。	同内容評価項目を設けている
（2）学校運営	
1　教育課程の編成と授業科目	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な教育課程編成・実施方針を作成したうえで、教育課程を体系的に編成し、系統性・段階性に配慮した授業科目を配置していること。	同内容評価項目を設けている
2　教育の実施	
①授業科目内容に応じ、講義、演習、実験、実習又は実技など、適切な授業形態で教育が実施され、かつ、適切な教材が用いられるとともに、成績評価基準に基づき成績評価を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②企業等と連携した、実習、実技、実験又は演習等（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。教育目標の達成に必要な企業等と連携した実習・演習等の単位数の総授業単位数に占める割合を具体的に設定していること。	同内容評価項目を設けている
3　単位・卒業認定	
①学校の目的・目標及び養成する人材像を実現するために必要な卒業認定方針（資格・免許等を含む習得させる職業能力を含む）を学科・コースごとに定め、当該方針に基づき卒業の認定をしていること。	同内容評価項目を設けている
4　学修成果目標の達成状況	
①卒業認定方針を踏まえ、学科・コースごとに職業能力を含む資質能力の修得（資格・免許等の取得や知識・技術・技能の修得を含む。）についての目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
②学生が望む進路の実現に関する目標を定め、その目標が達成できていること。	同内容評価項目を設けている
（3）学生の受入れ、学生支援	
1　学生募集及び入学者の選抜、収容定員の管理	
①入学者の受け入れ方針、入学選考基準、方法を定め、入学希望者に明示し、入学者の選考を公正に行い、合否を決定していること。	同内容評価項目を設けている
2　自主的な学習の促進に対する支援	
①学生の学力や学習状況を把握し、入学前教育や補習授業を行うなど学習支援に取組んでいること。学生の円滑な学習に向け、シラバスの活用による学習成果の向上や自主的な学習に関する適切な支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　多様な学生に対する支援	
①適切な体制を構築し、障がいのある学生、海外からの留学生、社会人経験者など、多様な学生に対する支援を行っていること。　※任意項目	同内容評価項目を設けている
4　学生生活に関する支援	
①カウンセラーの配置、相談室の設置など、学生の相談に対応するための環境整備を行い、適切に運営していること。	同内容評価項目を設けている
②留年者、退学希望者など学習の継続に困難な問題を抱える学生に対し適切な対応を行っていること。	同内容評価項目を設けている
③学校保健安全法に基づく学校保健計画を策定し、学生の心身の健康管理体制を整備し、適切に運用していること。　※簡易評価項目	同内容評価項目を設けている
④学生の経済的側面に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。※任意項目	同内容評価項目を設けている
⑤学生のキャリア支援、就職支援に対する支援体制を整備し、適切に周知、運用していること。	同内容評価項目を設けている

(4)教育実施組織・教員	
1　教員の配置、募集、採用	
①教育課程を実施するのに必要な、資格・要件を備えた教員を確保するために基準等(教員の採用基準等)を整備し、適正に運用していること。	同内容評価項目を設けている
②教員の常勤・非常勤、年齢構成等、また教員一人当たりの授業時数等を把握していること。また、教員の専門性、教授力を把握、評価していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　教員の組織編制等	
①学校の目的に応じた分野の区分ごとに必要な教員組織を整備し、業務分担、責任体制を規程等で定めていること。	同内容評価項目を設けている
②教員間で連携、協力体制を構築していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　教員の資質の向上	
①学校の教育活動の改善、工夫を行うFD(Faculty Development)などの取組や、教員の研究活動、自己啓発等への支援を行っていること。	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、企業等と連携して組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
③教員の授業及び指導力等を修得・向上するための研修を企業等と連携して、組織的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
(5)教育環境	
1　教育環境の整備	
①教育上の必要性に対応できる施設・設備、機械器具等を備えていること。	同内容評価項目を設けている
②学生の学習支援のための施設(自習室等)を整備していること。また、学生の休憩、食事のためのスペースを確保していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
③図書室を設置し、専攻分野の教育に必要な専門書及び参考図書を配架し、必要に応じて学生が閲覧できるようにしていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
2　安全対策、防災組織	
①学校保健安全法に基づく学校安全計画を策定し、学校における安全対策を適切に行っていること。	同内容評価項目を設けている
②火災の発生や防災に関する組織体制を整備し、適切に運営していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
3　施設・設備等の点検、改善等	
①施設・設備等の日常点検、定期点検、補修等を適切に行っていること。※任意項	同内容評価項目を設けている
②施設の改築・改修、設備の更新等の計画を定め、適切に実施していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
(6)教育活動の基盤と改善・向上の取組	
1　中期事業計画と財務基盤	
①当該専修学校が策定している中長期的計画に、教育目的、教育目標の実現に向けた具体的な内容が位置付けられていること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②当該専修学校の教育活動を安定して遂行するために必要かつ十分な財務基盤を確立していること。	同内容評価項目を設けている
2　学校運営	
①学校運営の組織体制を整備し、適切な運営が行われていること(職業教育に関するマネジメント(教育の企画・設計・運営等)における責任体制を含む。)。	同内容評価項目を設けている
3　学校評価の実施と改善活動	
①学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会等外部からの意見を反映するなど、関連企業等団体、地域社会等からの意見を当該専修学校の運営やその改善・向上において活用していること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている
②特に職業実践専門課程においては、教育課程編成委員会を年2回以上開催していること。	同内容評価項目を設けている
③学校評価を実施し結果及び改善状況についての情報を公表していること。	同内容評価項目を設けている
④学校評価の結果に基づく改善への取組を組織的かつ継続的に行っていること。	同内容評価項目を設けている
4　社会からの理解と情報の公表	
①当該専修学校の教育活動、学修成果、学校運営等の状況に関する情報を積極的に公表していること。	同内容評価項目を設けている
②教育目的・目標の達成状況や活動状況について関連する教育機関、産業界等をはじめ、社会全体からの理解を得るよう取組んでいること。 ※任意項目	同内容評価項目を設けている

（3）学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和8年9月1日現在

名　前	所　　属	任期	種別
冨岡　美穂	冨岡美穂税理士事務所	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	企業等委員
吉竹　知恵美	イオン九州株式会社	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	企業等委員
森　厚	上川端町四区自治会	令和8年4月1日～ 令和9年3月31日（1年）	近隣住民
森部　誠司	株式会社にしけい	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	企業等委員
長野　潤平	医療法人堺整形外科医院 福岡スポーツクリニック	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	企業等委員
真野　素行	社会福祉法人真和会第2板付保育園	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	企業等委員
長谷川　正志	社会医療法人青洲会グループ	令和7年4月1日～ 令和9年3月31日（2年）	企業等委員
永椎　広典	GMOペパボ株式会社	令和7年7月1日～ 令和9年3月31日（2年）	企業等委員
平田　武志	株式会社Lab.751 HIROSHIMA	令和7年7月1日～ 令和9年3月31日（2年）	企業等委員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

（4）学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
公表時期	令和8年10月6日		

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

（1）情報提供

情報提供方法	ホームページ	「その他」の場合	ー
公表URL	https://www.o-hara.ac.jp/about/hyoka/		
公表時期	令和8年10月6日		

授業科目等の概要

	（商業実務専門課程 総合ビジネス学科4年制）																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択					講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			簿記入門Ⅰ	株式会社における複式簿記の基本原理を学ぶ	1前	1	○			○		○		
2	○			キャリアデザインⅠ	面接試験において求められるビジネスマナーの基礎を学ぶ	1通	1		○		○		○		
3	○			一般教養Ⅰ	ビジネスで一般的に使用される熟語、四字熟語、慣用句などを学ぶ	1前	1	○	△		○		○		
4	○			ビジネス教養Ⅰ	企業内で多岐にわたり使用される電卓のスピード、正確性を高める実技演習を行う	1通	1		○		○		○		
5			○	3級商業簿記基礎	株式会社における複式簿記の基本原理、簿記の基本原理を学ぶ	1前	3	○			○		○		
6			○	3級簿記総合	基礎レベルではやや難しい会計処理を問題演習を通じて学ぶ	1前	4		○		○		○		
7			○	2級商業簿記基礎Ⅰ	基本的な財務報告書類の作成方法・株式会社会計の基礎を学ぶ	1前	3	○			○		○		
8			○	2級工業簿記基礎Ⅰ	工企業を前提とする会計処理の基礎を学ぶ	1前	2	○			○		○		
9			○	2級簿記総合Ⅰ	商企業および工企業の会計処理を問題演習を通じて学び、 本支店会計、連結会計、原価計算の基礎も学ぶ	1前	4		○		○		○		
10			○	キャリアデザインⅡ	会社などの組織を理解し、最低限身につけなければならないスキルの学習	1前	1	○	△		○		○		
11			○	会計学入門Ⅰ	簿記一巡・商品の流れの初歩的な知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	1前	2	○	△		○		○		
12			○	会計学入門Ⅱ	会計学、会計基準の初歩的な概要を学ぶ	1前	2	○	△		○		○		
13			○	簿記論入門Ⅰ	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	1前	1	○			○		○		
14			○	財務諸表論入門Ⅰ	会計学の概要入門を学ぶ	1前	1	○	△		○		○		
15			○	簿記論入門Ⅱ	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	1後	3	○			○		○		
16			○	財務諸表論入門Ⅱ	会計基準の入門概要を学ぶ	1後	3	○			○		○		
17			○	簿記論基礎Ⅰ	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	1後	4	○			○		○		
18			○	財務諸表論基礎Ⅰ	金融商品取引法の概要入門を学ぶ	1後	4	○			○		○		
19			○	簿記論基礎Ⅱ	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	1後	4	○			○		○		

20			○	財務諸表論基礎Ⅱ	会計学の入門・基礎を学ぶ	1後	4	○			○		○		
21			○	財務会計論簿記入門Ⅰ	商品売買及び棚卸資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ	1前	2	○	△		○		○		
22			○	管理会計論入門Ⅰ	管理会計の概要を知り、基礎を学ぶ	1前	1	○			○		○		
23			○	財務会計論簿記入門Ⅱ	現金預金及び金銭債権に関する初歩的な知識を学ぶ	1前	2	○	△		○		○		
24			○	財務会計論財表入門Ⅰ	財務会計の基礎概念を体系的に学ぶ	1前	1	○			○		○		
25			○	管理会計論入門Ⅱ	管理会計の概要を知り、原価計算制度の基礎知識を学ぶ	1前	2	○	△		○		○		
26			○	企業法入門Ⅰ	会社法の全体像を俯瞰し、会社の設立を中心とした基礎的な概念を学ぶ	1前	2	○			○		○		
27			○	監査論入門Ⅰ	監査手続きに関して、財務諸表監査に対する基礎的な枠組みを学ぶ	1前	1	○			○		○		
28			○	財務会計論簿記入門Ⅲ	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	1後	1		○		○		○		
29			○	財務会計論簿記入門演習Ⅰ	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	1後	1		○		○		○		
30			○	管理会計論入門演習Ⅰ	問題演習を行うことで、原価計算制度の基礎知識を定着させることを図る	1後	1		○		○		○		
31			○	短答式対策入門総合Ⅰ	模擬試験形式による効果測定	1後	1	○	△		○		○		
32			○	企業法入門Ⅱ	会社法の全体像を俯瞰し、株式を中心とした基礎的な概念を学ぶ	1後	1	○	△		○		○		
33			○	監査論入門Ⅱ	監査手続きに関して、監査実施論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	1後	1	○	△		○		○		
34			○	租税法入門Ⅰ	法人税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	1後	1	○			○		○		
35			○	経営学入門Ⅰ	ファイナンス分野の基礎的な計算知識を学ぶ	1後	1	○			○		○		
36			○	租税法入門Ⅱ	所得税法・消費税法の概要を捉え、基本的な計算を学ぶ	1後	1	○			○		○		
37			○	管理会計論基礎演習Ⅰ	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計の基礎知識を定着させることを図る	1後	1	○	△		○		○		
38			○	財務会計論基礎演習Ⅰ	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	1後	2	○	△		○		○		
39			○	企業法基礎演習Ⅰ	簡易的な記述式問題により会社法に関する正確な知識のインプットを図る演習	1後	1	○	△		○		○		
40			○	監査論基礎演習Ⅰ	監査制度に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	1後	1	○	△		○		○		
41			○	経営学基礎演習Ⅰ	簡易的な計算問題によりファイナンス分野の知識のインプットを図る演習	1後	1		○		○		○		
42			○	租税法基礎演習Ⅰ	計算問題を中心に法人税法に関する重要論点のインプットを図る演習	1後	1		○		○		○		
43			○	財務会計論簿記入門Ⅳ	有価証券及び有形固定資産に関する初歩的な会計処理を学ぶ	1後	3	○	△		○		○		

44			○	財務会計論財表入門Ⅱ	概念フレームワーク及び資産評価の基礎概念を学ぶ	1後	1	○	△		○		○		
45			○	管理会計論入門Ⅲ	択一式の問題演習を通しながら、計算力の向上や原価計算基準を学ぶ	1後	2	○	△		○		○		
46			○	企業法入門Ⅲ	会社法の全体像を俯瞰し、株式会社の機関設計や資金調達を中心とした基礎的な概念を学ぶ	1後	2	○	△		○		○		
47			○	監査論入門Ⅲ	監査手続きに関して、監査報告論に対する基礎的な枠組みを学ぶ	1後	1	○	△		○		○		
48			○	会計士キャリアデザインⅠ	職種や業種について基本的学習を行いつつ、会計士試験の理解を深め試験勉強と実務におけるつながりを理解する	1通	1	○			○		○		
49			○	ビジネスリーディングⅠ	文献から問題の本質を読み取る理解力・洞察力・思考力を磨き、根拠を検証する批判的な読解姿勢を養う。	1通	1	○	△		○		○		
50			○	ビジネスリーディングⅡ	文章を批判的かつ論理的に読む技法を学び、論文作成や発表に必要なクリティカル・リーディングを習得する。	1通	1	○	△		○		○		
51			○	ビジネスコミュニケーションⅠ	基本的な英文法を復習し、文法表現の違いや使い方を理解して、自分の考えを英語で適切に伝える力を養う。	1通	1	○	△		○		○		
52			○	ビジネスコミュニケーションⅢ	基礎英文法と英文構造を理解し、記事やメール、Webページなどの英文を正確かつ効率的に読む力を養う。	1通	1	○	△		○		○		
53			○	統計学入門	経営・会計・マーケティングに用いる統計学の意義を理解し、記述統計、相関、確率分布などの基礎を学ぶ。	1通	1	○	△		○		○		
54			○	論理学入門	伝統論理学と現代論理学の関係を理解し、命題論理や述語論理を演習を通じて学ぶ。	1通	1	○	△		○		○		
55			○	チームワーク論	リーダーの役割や協働の枠組みを理解し、メンバーの力を生かして共通目標を達成する過程を学ぶ。	1通	1	○	△		○		○		
56			○	法学概論	法の基本概念・分類・条文解釈を学び、現代の情報社会で必要な法的知識と思考力を養う。	1通	1	○	△		○		○		
57			○	組織心理学	職場の行動心理、ストレスと心の健康、キャリア形成、動機づけ、リーダーシップなどを学ぶ。	1通	1	○	△		○		○		
58			○	ITリテラシー	コンピュータ、OS、情報システム、ネットワークの仕組みと機能を学び、情報通信技術の基礎を理解する。	1通	1	○	△		○		○		
59			○	コンピュータリテラシー	パソコンとネットワークの基礎を学び、Officeの操作とExcelの関数・グラフ・データベース機能を習得する。	1通	1	○	△		○		○		
60			○	ビジネス数学Ⅰ	線形代数学の考え方と計算法を理解し、連立一次方程式、行列式、線形空間などの基礎を学ぶ。	1通	1	○	△		○		○		
61			○	ビジネス数学Ⅱ	データ収集・グラフ化・分析や経済現象の数式表現を学び、経済・経営に必要な数理的思考を養う。	1通	1	○	△		○		○		
62			○	総合ビジネス教養Ⅰ	自己と他者、自文化と異文化の違いを理解し、多様な文化と円滑に交流するための知性と感性を養う。	1通	1	○	△		○		○		
63			○	総合ビジネス教養Ⅱ	中国と周辺地域の歴史・文化・社会のつながりをたどり、世界史における中国の位置と特徴を理解する。	1通	1	○	△		○		○		
64	○			一般教養Ⅱ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	2前	1		○		○		○		
65	○			経理実務	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するための講義	2通	2		○		○		○		
66	○			給与計算実務	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義	2後	2		○		○		○		
67			○	キャリアデザインⅢ	グループワークの形式、役割、手法について学ぶ	2後	1	○	△		○		○		

68			○	経理実務基礎Ⅲ	経理の実務で必要となる業務内容や処理の概要を体系的に学び、帳票書類についての 知識を習得する	2後	2	○	△		○		○		
69			○	ビジネス教養Ⅱ	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	2通	1		○		○		○		
70			○	簿記論応用Ⅰ	総合問題論点の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	2前	2	○			○		○		
71			○	財務諸表論応用Ⅰ	会社法の概要入門を学ぶ	2前	2	○	△		○		○		
72			○	簿記論総合Ⅰ	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する	2前	6	○			○		○		
73			○	財務諸表論総合Ⅰ	財務諸表作成の入門概要を学ぶ	2前	6	○	△		○		○		
74			○	簿記論入門Ⅲ	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	2前	1	○			○		○		
75			○	財務諸表論入門Ⅲ	会計学の基礎を学ぶ	2前	1	○	△		○		○		
76			○	消費税法入門Ⅲ	売上取引を中心とした消費税の可否区分の処理方法を学習する	2前	1	○			○		○		
77			○	相続税法入門Ⅲ	相続税および贈与税の概要基礎を学ぶ	2前	1	○	△		○		○		
78			○	法人税法入門Ⅲ	法人税法の計算体系、仕組みの理解を目的とする	2前	1	○			○		○		
79			○	消費税法速習入門Ⅱ	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の処理方法を学習する	2前	1	○			○		○		
80			○	簿記論基礎Ⅲ	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	2後	4	○			○		○		
81			○	財務諸表論基礎Ⅲ	会計基準の基礎を学ぶ	2後	4	○			○		○		
82			○	消費税法基礎Ⅱ	控除税額や納税義務の有無の判定を中心に処理方法を学習する	2後	4	○			○		○		
83			○	相続税法基礎Ⅱ	相続税、贈与税の基礎的な問題の理解	2後	4	○	△		○		○		
84			○	法人税法基礎Ⅱ	欠損金の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ	2後	4	○			○		○		
85			○	消費税法速習基礎Ⅱ	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした処理方法を学習する	2後	1	○			○		○		
86			○	簿記論基礎Ⅳ	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する	2後	2	○			○		○		
87			○	財務諸表論基礎Ⅳ	金融商品取引法の基礎を学ぶ	2後	2	○			○		○		
88			○	消費税法基礎Ⅲ	課税標準や簡易課税制度を中心とした処理方法を学習する。	2後	2	○			○		○		
89			○	相続税法基礎Ⅲ	相続税、贈与税の基礎的な知識を網羅し文章問題を解答する	2後	2	○	△		○		○		
90			○	法人税法基礎Ⅲ	組織再編税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ	2後	2	○			○		○		
91			○	消費税法速習応用Ⅱ	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした処理方法を学習する	2後	2	○			○		○		

92			○	国税徴収法基礎Ⅱ	滞納者の財産の調査方法を中心とした税法理論を学ぶ	2後	2	○			○		○		
93			○	短答式対策入門総合Ⅱ	模擬試験形式による効果測定	2前	1		○		○		○		
94			○	管理会計論応用演習Ⅰ	応用力を身に着けるために、計算問題と記述式問題を織り交ぜた問題を解く	2前	1	○	△		○		○		
95			○	財務会計論応用演習Ⅰ	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	2前	2	○	△		○		○		
96			○	企業法応用演習Ⅰ	出題の意図に沿った会社法分野の正確な記述解答を図る演習	2前	1	○	△		○		○		
97			○	監査論応用演習Ⅰ	解答の記述構成など監査制度に関する記述レベルを引き上げを図る演習	2前	1	○	△		○		○		
98			○	経営学応用演習Ⅰ	ファイナンス分野の知識のインプット及びアウトプット力の向上を図る演習	2前	1	○	△		○		○		
99			○	租税法応用演習Ⅰ	論理的な思考を用い法人税法に関する重要論点のアウトプット力の向上を図る演習	2前	1	○	△		○		○		
100			○	財務会計論簿記入門Ⅴ	リース会計及びその他の資産並びに社債に関する初歩的な会計処理を学ぶ	2前	2	○	△		○		○		
101			○	財務会計論財表入門Ⅲ	棚卸資産及び固定資産並びに繰延資産の会計処理に関する基礎概念を学ぶ	2前	1	○	△		○		○		
102			○	管理会計論入門Ⅳ	問題演習を通しながら、計算力の向上とともに原価計算基準の知識の定着を図る	2前	2	○	△		○		○		
103			○	企業法入門Ⅳ	会社法の全体像を俯瞰し、計算書類、定款変更、事業譲渡と組織再編行為を中心とした基礎的な概念を学ぶ	2前	1	○	△		○		○		
104			○	監査論入門Ⅳ	監査手続きに関して、継続企業及び公認会計士法に対する基礎的な枠組みを学ぶ	2前	1	○	△		○		○		
105			○	財務会計論簿記計算特訓Ⅰ	退職給付会計及び資産除去債務に関する基礎的な会計処理を学ぶ	2前	1	○	△		○		○		
106			○	管理会計論計算特訓Ⅰ	入門講義で学習した知識を基に、計算力の向上を図る	2前	1	○	△		○		○		
107			○	財務会計論簿記入門演習Ⅱ	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う	2前	1	○	△		○		○		
108			○	管理会計論入門演習Ⅱ	基礎的な総合問題を解くことで、管理会計の構造を理解する	2前	1	○	△		○		○		
109			○	管理会計論直前演習Ⅰ	問題演習を通しながら、論理的な思考力と文章表現力を磨く	2前	1	○	△		○		○		
110			○	財務会計論直前演習Ⅰ	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う	2前	2	○	△		○		○		
111			○	企業法直前演習Ⅰ	会社法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習	2前	1	○	△		○		○		
112			○	監査論直前演習Ⅰ	監査制度に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う	2前	1	○	△		○		○		
113			○	経営学直前演習Ⅰ	ファイナンス分野の知識のアウトプット力の向上を図る演習	2前	1	○	△		○		○		
114			○	租税法直前演習Ⅰ	出題予想に基づく法人税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習	2前	1	○	△		○		○		
115			○	論文式対策総合Ⅰ	模擬試験形式による総合問題の効果測定	2前	1	○	△		○		○		

116			○	財務会計論簿記基礎Ⅰ	純資産会計及び法人税に関する基礎的な知識を学ぶ	2前	2	○			○		○		
117			○	財務会計論財表基礎Ⅰ	負債会計及び純資産会計に関する基礎概念を学ぶ	2前	1	○			○		○		
118			○	管理会計論基礎Ⅰ	基本的な用語や諸概念を理解するとともに、原価計算の一連の計算手続を理解する	2前	2	○			○		○		
119			○	企業法基礎Ⅰ	会社法を中心とした、会社の設立や株式に関する知識を学ぶ	2前	2	○			○		○		
120			○	監査論基礎Ⅰ	監査制度や監査の進め方に関して、財務諸表監査及び監査実施論についての基礎知識を学ぶ	2前	1	○			○		○		
121			○	財務会計論簿記入門演習Ⅲ	数学的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う	2前	1		○		○		○		
122			○	管理会計論入門演習Ⅲ	管理会計の構造を意識しながら、総合問題を解くことで知識の定着を図る	2前	1		○		○		○		
123			○	TOEIC	TOEICテストの内容を理解し、語彙力、読解力、リスニング能力を強化する	2後	1	○	△		○		○		
124			○	TOEICⅡ	基礎知識を基に問題演習を行う	2後	1	○	△		○		○		
125			○	企業法基礎Ⅱ	会社法を中心とした、株式会社の機関に関する知識を学ぶ	2後	1	○	△		○		○		
126			○	監査論基礎Ⅱ	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査技術についての基礎知識を学ぶ	2後	1	○	△		○		○		
127			○	財務会計論簿記基礎Ⅱ	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	2後	1		○		○		○		
128			○	財務会計論簿記上級演習Ⅰ	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	2後	1	○	△		○		○		
129			○	管理会計論上級演習Ⅰ	問題演習を行うことで、原価計算制度の知識を定着させる	2後	1		○		○		○		
130			○	短答式対策上級総合Ⅰ	模擬試験形式による効果測定	2後	1	○	△		○		○		
131			○	租税法基礎Ⅰ	計算項目を理論的側面から捉える	2後	1	○			○		○		
132			○	経営学基礎Ⅰ	組織論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ	2後	1	○			○		○		
133			○	租税法基礎Ⅱ	計算項目を理論的側面から捉える	2後	1	○			○		○		
134			○	管理会計論基礎演習Ⅱ	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計論の典型論点を中心に理解を深める	2後	1		○		○		○		
135			○	財務会計論基礎演習Ⅱ	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	2後	2		○		○		○		
136			○	企業法基礎演習Ⅱ	簡易的な記述式問題により商法に関する正確な知識のインプットを図る演習	2後	1		○		○		○		
137			○	監査論基礎演習Ⅱ	監査実施論に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	2後	1		○		○		○		
138			○	経営学基礎演習Ⅱ	簡易的な記述式問題により組織論に関する知識のインプットを図る演習	2後	1		○		○		○		
139			○	租税法基礎演習Ⅱ	計算問題を中心に所得税法に関する重要論点のインプットを図る演習	2後	1		○		○		○		

140			○	財務会計論簿記基礎Ⅲ	連結会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ	2後	3	○	△		○		○				
141			○	財務会計論財表基礎Ⅱ	財務諸表の表示及び注記に関する基礎概念を学ぶ	2後	1	○	△		○		○				
142			○	管理会計論基礎Ⅱ	原価計算システムを通じて提供される原価情報が企業経営においてどのように役立つのかを理解する	2後	2	○	△		○		○				
143			○	企業法基礎Ⅲ	会社法を中心とした、資金調達に関する知識を学ぶ	2後	2	○	△		○		○				
144			○	監査論基礎Ⅲ	監査制度や監査の進め方に関して、具体的な監査計画についての基礎知識を学ぶ	2後	1	○	△		○		○				
145			○	会計士キャリアデザインⅡ	オフィスツアーや会計・監査の実務家の講演により、会計専門職としての職業観を身につける	2後	1		○		○		○				
146			○	ビジネスプレゼンテーションⅠ	論理的な文章を書くための思考構成と問いの立て方を学び、概略・構造・批判の三段階の読解技法を磨く。	2通	1	○	△		○		○				
147			○	ビジネスプレゼンテーションⅡ	日本語の語彙・文法と場面に応じた敬語表現を学び、対話力と円滑な対人関係を築く力を養う。	2通	1	○	△		○		○				
148			○	ビジネスコミュニケーションⅡ	身近な場面で自分の考えを伝える英語表現を学び、さまざまな英語の発音にも触れながら会話力を磨く。	2通	1	○	△		○		○				
149			○	リーダーシップ論基礎	リーダーシップの基礎理論を学び、グループワークを通じて協働と目標達成に必要な資質を育む。	2通	1	○	△		○		○				
150			○	現代経済	金融・物価・景気・産業構造を学び、日本経済の現状と貿易、財政、環境、人口減少等の課題を理解する。	2通	1	○	△		○		○				
151			○	情報社会と法	サイバー空間の表現規制、ネット上の名誉毀損、個人情報の保護と活用などの法律問題を学ぶ。	2通	1	○	△		○		○				
152			○	経済数学	ミクロ・マクロ経済学に必要な基礎数学を理解し、微分積分や投入産出分析などの手法を学ぶ。	2通	1	○	△		○		○				
153			○	ビジネスリテラシーⅠ	都市計画や都市災害、都市防災の歴史と考え方を学び、人々の暮らしとの関わりを理解する。	2通	1	○	△		○		○				
154			○	教養としてのデータサイエンス	データとAIによる問題解決を理解し、データの読解・価値の創出とデータ倫理の基礎を学ぶ。	2通	1	○	△		○		○				
155			○	ビジネスリテラシーⅡ	大気汚染、地球温暖化、水資源、廃棄物等の環境問題を学び、持続可能な社会への対策を考える。	2通	1	○	△		○		○				
156			○	総合ビジネス教養Ⅲ	大航海時代から現代までの欧米世界の歴史を概観し、歴史的事件と現代社会とのつながりを学ぶ。	2通	1	○	△		○		○				
157			○	総合ビジネス教養Ⅳ	国際関係の基礎理論を学び、戦争と平和、暴力の抑制に向けた国際社会の取り組みを考察する。	2通	1	○	△		○		○				
158	○			会計キャリアデザインⅠ	面接試験において求められるビジネスマナーの応用を学ぶ。応用編の位置付けで実施する	3通	1	○	△		○		○				
159			○	一般教養Ⅲ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	3前	1	○	△		○		○				
160			○	ビジネス教養Ⅲ	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	3通	1		○		○		○				
161			○	Power Point基礎	PCの基礎操作並びにPowerPointの基礎操作を理解する	3通	1	○			○		○				
162			○	ＩＴリテラシ	ネットワーク、セキュリティの知識とコンピュータの基本操作を学ぶ	3後	4	○	△		○		○				
163			○	業界・企業研究実践	自分の価値観に合った企業選びができる	3後	1		○		○		○				

164			○	Excel基礎	Excelの基礎操作並びに関数の効果的な使用方法を習得する	3後	2	○	△		○		○		
165			○	簿記論応用Ⅲ	総合問題論点の基礎知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	3前	2	○			○		○		
166			○	財務諸表論応用Ⅲ	会社法の基礎を学ぶ	3前	2	○	△		○		○		
167			○	消費税法応用Ⅱ	軽減税率や複数税率などを中心とした処理方法を学習する。	3前	2	○			○		○		
168			○	相続税法応用Ⅱ	相続税、贈与税の応用的な理論的思考も学習をし、理解を深める	3前	2	○	△		○		○		
169			○	法人税法応用Ⅱ	試験研究費等の特殊項目の学習を進める。	3前	2	○			○		○		
170			○	簿記論総合Ⅲ	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	3前	6	○			○		○		
171			○	財務諸表論総合Ⅲ	財務諸表作成の基礎を学ぶ	3前	6	○	△		○		○		
172			○	消費税法総合Ⅱ	確定申告書の納付（還付）税額算出までの流れを学ぶ。	3前	6		○		○		○		
173			○	相続税法総合Ⅱ	相続税および贈与税の規定、申告について総合的・応用的に学ぶ	3前	6	○	△		○		○		
174			○	法人税法総合Ⅱ	法人税法の計算技術習得を目的とする。	3前	6		○		○		○		
175			○	消費税法速習総合Ⅱ	確定申告書の納付（還付）税額算出までの流れを学ぶ。	3前	3		○		○		○		
176			○	国税徴収法総合Ⅱ	保全措置を中心とした国税徴収法の規定を学ぶ。	3前	3		○		○		○		
177			○	簿記論入門Ⅳ	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	3前	1	○			○		○		
178			○	財務諸表入門論Ⅳ	会計学の応用を学ぶ	3前	1	○	△		○		○		
179			○	消費税法入門Ⅳ	売上取引を中心とした消費税の可否区分の計算方法を学習する。	3前	1	○			○		○		
180			○	相続税法入門Ⅳ	相続税および贈与税の概要応用を学ぶ	3前	1	○	△		○		○		
181			○	法人税法入門Ⅳ	法人税法の計算方法の理解を目的とする。	3前	1	○			○		○		
182			○	消費税法速習入門Ⅲ	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の計算方法を学習する。	3前	1	○			○		○		
183			○	簿記論基礎Ⅴ	特殊商品売買・金融商品の知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	3後	4	○			○		○		
184			○	財務諸表論基礎Ⅴ	会計基準の応用を学ぶ	3後	4	○			○		○		
185			○	消費税法基礎Ⅳ	控除税額を中心とした計算方法を学習する。	3後	4	○			○		○		
186			○	相続税法基礎Ⅳ	相続税、贈与税の応用的な問題の理解	3後	4	○	△		○		○		
187			○	法人税法基礎Ⅳ	外貨建取引を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	3後	4	○			○		○		

188			○	消費税法速習基礎Ⅲ	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした計算方法を学習する。	3後	1	○			○		○		
189			○	簿記論基礎Ⅵ	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	3後	2	○			○		○		
190			○	財務諸表論基礎Ⅵ	金融商品取引法の応用を学ぶ	3後	2	○			○		○		
191			○	消費税法基礎Ⅴ	納税義務判定の特例や簡易課税制度を中心とした計算方法を学習する。	3後	2	○			○		○		
192			○	相続税法基礎Ⅴ	相続税、贈与税の応用的な知識を網羅し文章問題を解答する。	3後	2	○	△		○		○		
193			○	法人税法基礎Ⅴ	適用除外事業者を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	3後	1	○			○		○		
194			○	社会保険労務士入門Ⅰ	労働基準法の基礎を学ぶ	3後	4	○			○		○		
195			○	社会保険労務士基礎Ⅰ	社会保険の基礎を学ぶ	3後	4	○			○		○		
196			○	消費税法速習応用Ⅲ	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした計算方法を学習する。	3後	2	○			○		○		
197			○	国税徴収法基礎Ⅲ	差押の制限及び解除方法を中心とした税法理論を学ぶ。	3後	2	○			○		○		
198			○	短答式対策上級総合Ⅱ	模擬試験形式による効果測定	3前	1		○		○		○		
199			○	管理会計論応用演習Ⅱ	難易度の高い問題や切り口の異なった多彩な問題を解くことで応用力を養う	3前	1		○		○		○		
200			○	財務会計論応用演習Ⅱ	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	3前	2		○		○		○		
201			○	企業法応用演習Ⅱ	出題の意図に沿った商法分野の正確な記述解答を図る演習	3前	1		○		○		○		
202			○	監査論応用演習Ⅱ	解答の記述構成など実施論分野の記述レベルを引き上げを図る演習	3前	1		○		○		○		
203			○	経営学応用演習Ⅱ	組織論に関する知識のインプット及びアウトプット力の向上を図る演習	3前	1		○		○		○		
204			○	租税法応用演習Ⅱ	論理的な思考を用い所得税法に関する重要論点のアウトプット力の向上を図る演習	3前	1		○		○		○		
205			○	財務会計論簿記基礎Ⅳ	税効果会計及び外貨建会計に関する基礎的な会計処理を学ぶ	3前	2	○	△		○		○		
206			○	財務会計論財表基礎Ⅲ	誤謬基準及び金融商品会計基準に関する基礎概念を学ぶ	3前	1	○	△		○		○		
207			○	管理会計論基礎Ⅲ	計算力の向上を図りつつ、原価計算システムが経営管理目的に有用な情報を提供できることを学ぶ	3前	2	○	△		○		○		
208			○	企業法基礎Ⅳ	会社法を中心とした、計算書類、定款に関する知識を学ぶ	3前	1	○	△		○		○		
209			○	監査論基礎Ⅳ	監査制度や監査の進め方に関して、会計上の見積りや不正についての基礎知識を学ぶ	3前	1	○	△		○		○		
210			○	財務会計論簿記計算特訓Ⅱ	包括利益及び在外子会社に関する応用的な会計処理を学ぶ	3前	1	○	△		○		○		
211			○	管理会計論計算特訓Ⅱ	基礎講義で学習した知識を基に、計算力の向上を目的とする	3前	1	○	△		○		○		

212			○	財務会計論簿記上級演習Ⅱ	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う	3 前	1		○		○		○		
213			○	管理会計論上級演習Ⅱ	基礎的な総合問題を解くことで、管理会計の体系や構造を学ぶ	3 前	1		○		○		○		
214			○	管理会計論直前演習Ⅱ	問題演習を通しながら、論理的な思考力と文章表現力をさらに磨く	3 前	1		○		○		○		
215			○	財務会計論直前演習Ⅱ	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う	3 前	2		○		○		○		
216			○	企業法直前演習Ⅱ	商法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習	3 前	1		○		○		○		
217			○	監査論直前演習Ⅱ	監査実施論に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う	3 前	1		○		○		○		
218			○	経営学直前演習Ⅱ	組織論に関する知識のアウトプット力の向上を図る演習	3 前	1		○		○		○		
219			○	租税法直前演習Ⅱ	出題予想に基づく所得税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習	3 前	1		○		○		○		
220			○	論文式対策総合Ⅱ	模擬試験形式による総合問題の効果測定	3 前	1		○		○		○		
221			○	財務会計論簿記上級Ⅰ	連結会計及びセグメント情報に関する応用的な知識を学ぶ	3 前	2	○			○		○		
222			○	財務会計論財表上級Ⅰ	ストック・オプション及びリース並びに退職給付に関する基礎及び応用概念を学ぶ	3 前	2	○			○		○		
223			○	管理会計論上級Ⅰ	財務会計との相違に着目し、より詳細な管理会計を学ぶ	3 前	2	○			○		○		
224			○	企業法上級Ⅰ	会社法上の主要な課題について、株式会社の設立を中心に学習する	3 前	2	○			○		○		
225			○	監査論上級Ⅰ	財務諸表の監査証明業務に関して財務諸表監査及び監査実施論を中心に、理論的裏付けも含めて学ぶ	3 前	1	○			○		○		
226			○	財務会計論簿記上級演習Ⅲ	数学的・論理的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う	3 前	1		○		○		○		
227			○	管理会計論上級演習Ⅲ	試験委員固有の論点も含めた総合問題を演習することで計算力のさらなる構築を図る	3 前	1		○		○		○		
228			○	企業法上級Ⅱ	会社法上の主要な課題について、株式を中心に学習する	3 後	1	○	△		○		○		
229			○	監査論上級Ⅱ	財務諸表の監査証明業務に関して、財務諸表監査における不正を中心に、理論的裏付けも含めて学ぶ	3 後	1	○	△		○		○		
230			○	財務会計論簿記上級Ⅱ	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	3 後	1		○		○		○		
231			○	財務会計論簿記上級演習Ⅳ	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	3 後	1		○		○		○		
232			○	管理会計論上級演習Ⅳ	問題演習を行うことで、原価計算制度の理論的背景も含めて学ぶ	3 後	1		○		○		○		
233			○	短答式対策上級総合Ⅲ	模擬試験形式による効果測定	3 後	1		○		○		○		
234			○	租税法上級Ⅰ	法人税法・所得税法の関係性を学ぶ	3 後	1	○			○		○		
235			○	経営学上級Ⅰ	戦略論を中心に時代に沿って経営学を学ぶ	3 後	1	○			○		○		

236			○	租税法上級Ⅱ	所得税法・消費税法の関係性を学ぶ	3後	1	○			○		○			
237			○	管理会計論基礎演習Ⅲ	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら、管理会計論の典型論点を中心に理解をさらに深める	3後	1		○		○		○			
238			○	財務会計論基礎演習Ⅲ	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	3後	2		○		○		○			
239			○	企業法基礎演習Ⅲ	簡易的な記述式問題により金融商品取引法に関する正確な知識のインプットを図る演習	3後	1		○		○		○			
240			○	監査論基礎演習Ⅲ	監査報告論に関する個別的な論点を基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	3後	1		○		○		○			
241			○	経営学基礎演習Ⅲ	簡易的な記述式問題により戦略論に関する知識のインプットを図る演習	3後	1		○		○		○			
242			○	租税法基礎演習Ⅲ	計算問題を中心に消費税法に関する重要論点のインプットを図る演習	3後	1		○		○		○			
243			○	財務会計論簿記上級Ⅲ	企業結合及び事業分離に関する応用的な会計処理を学ぶ	3後	3	○	△		○		○			
244			○	財務会計論財表上級Ⅱ	研究開発費及び減損会計並びに税効果会計に関する基礎及び応用概念を学ぶ	3後	1	○	△		○		○			
245			○	管理会計論上級Ⅱ	原価計算基準を理解し、原価計算システムが経営管理目的に有用な情報を提供できることを学ぶ	3後	2	○	△		○		○			
246			○	企業法上級Ⅲ	会社法上の主要な課題について、株式及び株式会社の機関を中心に学習する	3後	2	○	△		○		○			
247			○	監査論上級Ⅲ	財務諸表の監査証明業務に関して、内部監査や専門家を利用する場合を中心に、理論的裏付けも含めて学ぶ	3後	1	○	△		○		○			
248			○	会計士キャリアデザインⅢ	職種や業種について基本的学習を行いつつ、会計士試験の理解を深め試験勉強と実務におけるつながりを理解する	3通	1		○		○		○			
249			○	経営学概論	企業形態や経営組織など経営学の全体像を理解し、経営戦略やマーケティング等の基礎知識を習得する。	3前	1	○	△		○		○			
250			○	マーケティング入門	マーケティングの基礎理論と体系を学び、身近な商品やサービスの事例に理論を当てはめて理解する。	3前	1	○	△		○		○			
251			○	国際ビジネス入門	国際ビジネスの歴史と企業の国際化を概観し、事業の主要機能や各国・地域のビジネス環境を学ぶ。	3前	1	○	△		○		○			
252			○	ファイナンス入門	金融取引、証券市場、金融商品の価格と時間価値を理解し、債券や株式の基本的な分析方法を学ぶ。	3前	1	○	△		○		○			
253			○	経済原論	ミクロ・マクロ経済学の基礎理論を学び、経済学と社会現象との関わりを理解して応用分野の土台を築く。	3前	1	○	△		○		○			
254			○	簿記原理	複式簿記の基礎を学び、経理実務に必要な会計知識、財務諸表を読む力、経営管理の基本を身につける。	3前	1		○		○		○			
255			○	ミクロ経済学	消費者・生産者の行動など市場分析の基礎理論を体系的に学び、現実の経済問題への応用を考える。	3後	1	○	△		○		○			
256			○	マクロ経済学	GDPの決定、経済成長、景気変動などを通じ、国全体の経済を分析するマクロ経済学の基礎を学ぶ。	3後	1	○	△		○		○			
257			○	財務会計基礎	企業活動の成果を外部に報告する財務会計について、会計原則や基礎理論、貸借対照表を中心に学ぶ。	3前	2	○	△		○		○			
258			○	競争戦略論	競争優位を確立するための基礎理論と分析枠組みを学び、企業間競争の事例に当てはめて考察する。	3後	2	○	△		○		○			
259			○	国際経営論	国際経営の歴史と多国籍企業の組織・戦略を学び、異なる国や地域での事業拠点の配置と運営を考察する。	3後	2	○	△		○		○			

260			○	ブランドマネジメント論	ブランド戦略、価値創造、ブランド要素や経験価値を学び、競争優位を支えるブランド構築を理解する。	3後	2	○	△		○		○		
261			○	金融論	証券化や投資信託など現代の金融の仕組みを理解し、金融機関の役割や金融政策・規制を学ぶ。	3通	2	○	△		○		○		
262			○	流通システム論	小売業・卸売業等の企業活動を事例から捉え、流通システムの構造と発展に関する理論を学ぶ。	3前	2	○	△		○		○		
263			○	マーケティング論	企業事例を通じ、市場分析、標的市場の選定、ポジショニング、マーケティング施策の基礎を学ぶ。	3後	2	○	△		○		○		
264			○	イノベーション論	新製品開発、組織、経営戦略、価値創造などの視点から、企業経営における革新の役割を学ぶ。	3後	2	○	△		○		○		
265			○	経営管理論	組織設計、経営戦略、資源管理、リーダーシップや組織変革を通じ、現代の経営管理の理論を学ぶ。	3後	2	○	△		○		○		
266			○	経営組織論	組織の基礎理論、組織構造と設計、内外環境との関係を理解し、組織戦略や組織変革を学ぶ。	3後	2	○	△		○		○		
267			○	消費者行動論	購買動機やブランド選択を題材に、消費者心理と行動の理論、分析方法を体系的に学ぶ。	3後	2	○	△		○		○		
268			○	現代商品論	モノとサービスの特性を踏まえ、商品の品質、価格、標準化競争やコモディティ化を体系的に学ぶ。	3通	2	○	△		○		○		
269			○	経営学史	主要な経営学説とその成立背景を学び、企業経営の現代的課題を考えるための知識を身につける。	3通	2	○	△		○		○		
270			○	財務諸表論	貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等を通じ、財務会計と企業の経営状況を理解する。	3後	2	○	△		○		○		
271			○	統計分析入門	統計学の基礎理論を使い、データの整理・要約・傾向把握から意思決定に役立つ分析手法を学ぶ。	3前	2	○	△		○		○		
272			○	ＡＩ・データサイエンス基礎理論	データの取得・管理、相関・回帰分析、機械学習やAIなど、データサイエンスの基礎を学ぶ。	3前	2	○	△		○		○		
273			○	産業システム論	経済学理論を産業や市場に応用し、消費者・生産者の行動、産業構造と企業の意思決定を分析する。	3通	2	○	△		○		○		
274			○	ビジネスデータ分析	統計学と統計手法の基礎を学び、統計ソフトRを用いたデータ分析を通じて実践力を身につける。	3前	2	○	△		○		○		
275			○	経営情報論	DX、ICT、ビッグデータ等の技術革新が企業経営に与える影響と活用方法を理論・事例から学ぶ。	3前	2	○	△		○		○		
276			○	リーダーシップ論	リーダーシップの主要理論と多様なアプローチを学び、現代の組織に必要な指導・支援のあり方を考える。	3通	2	○	△		○		○		
277			○	企業倫理と社会的責任	企業統治の基本を学び、不祥事防止、企業価値向上、利害関係者との関係管理を理解する。	3通	2	○	△		○		○		
278			○	マーケティング調査	調査課題の設定から質問票作成、データ収集・分析、報告までの調査過程を実践的に学ぶ。	3通	2	○	△		○		○		
279			○	デジタルマーケティング	SNSやネット広告等を活用したマーケティングの理論・戦略を学び、消費者行動の視点から分析する。	3通	2	○	△		○		○		
280	○			会計キャリアデザインⅡ	面接試験において求められるビジネスマナーを学ぶ。演習編の位置付けで実施する。	4通	1	○			○		○		
281		○		一般教養Ⅳ	漢字の学習を通じ、ことわざや故事成語など国語分野に関する知識まで身につける	4前	1		○		○		○		
282			○	ビジネス教養Ⅳ	電卓の学習を通じ、計算技能・集中力を養う	4通	1		○		○		○		
283			○	Word基礎	PCの基礎操作並びにWordの基礎操作を理解する	4通	1	○			○		○		

284			○	FP基礎	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	4前	5	○			○		○				
285			○	FP応用	日常生活に関わる様々なお金の知識を身につける	4前	3		○		○		○				
286			○	FP総合	「お金」に関する総合的な知識を深め、経済社会との関係性を理解する	4前	4	○			○		○				
287			○	パソコン実習Ⅰ	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	4通	1		○		○		○				
288			○	パソコン実習Ⅱ	Excelの資料作成、作業スピードを向上するテクニックを習得する	4通	1			○	○		○				
289			○	パソコン実習Ⅲ	応用的な機能を活用した文書作成や複雑なデータ集計を行うスキル習得のための実習	4通	1			○	○		○				
290			○	英会話入門	日常生活での簡単な英会話を事例をもとに学習する	4通	1		○		○		○				
291			○	ビジネスマナー	ビジネス電話対応や接客、接遇に関するルールを学習する	4通	2	○	△		○		○				
292			○	卒業研究・発表	実店舗を題材にして、課題に対する改善案を提案し発表する	4後	2			○	○		○				
293			○	マーケティング概論	マーケティングの必要性と目的を学習する	4後	2		○		○		○				
294			○	ITパスポート基礎	情報技術の基礎となる考え方・仕組み・専門用語を理解する	4通	4	○	△		○		○				
295			○	ITパスポート・リテラシ演習	情報技術の考え方・仕組み・専門用語を問題演習を通じて学ぶ	4後	1		○		○		○				
296			○	ITパスポート応用	基礎レベルではやや難しい情報技術の考え方をを問題演習を通じて学ぶ	4後	1	○	△		○		○				
297			○	経理実務Ⅱ	経理実務で必要となる業務内容を体系的に学び、知識を習得するための講義	4通	2		○		○		○				
298			○	給与計算実務Ⅱ	所得税・住民税の基礎知識を体系的に理解し、特に年末調整事務に必要な知識を習得する講義	4後	2		○		○		○				
299			○	財務会計	財務諸表の作成に関する知識と技術を身につけ、財務会計の意義や制度を理解するための講義	4後	2	○			○		○				
300			○	経理実務Ⅳ	経理実務で必要となる業務内容の概要を体系的に学び、帳票書類についての知識の応用を習得する	4後	1		○		○		○				
301			○	卒業前特別講座	社会人として必要な考え方やスキルを学ぶ	4後	1		○		○		○				
302			○	簿記論応用Ⅳ	総合問題論点の応用知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	4前	2	○			○		○				
303			○	財務諸表論応用Ⅳ	会社法の応用を学ぶ	4前	2	○	△		○		○				
304			○	消費税法応用Ⅲ	軽減税率や複数税率などの計算方法および税法理論を学習する。	4前	2	○			○		○				
305			○	相続税法応用Ⅲ	相続税、贈与税の実践的な理論的思考も学習をし、理解を深める	4前	2	○	△		○		○				
306			○	法人税法応用Ⅲ	解散税制等の特殊項目の学習を進める。	4前	2	○			○		○				
307			○	簿記論総合Ⅳ	問題演習により効率的な得点ができるように、問題を解答する。	4前	6	○			○		○				

308			○	財務諸表論総合Ⅳ	財務諸表作成の応用を学ぶ	4前	6	○	△		○		○		
309			○	消費税法総合Ⅲ	納税義務判定を含む確定申告書の納付（還付）税額算出までの流れを学ぶ。	4前	6		○		○		○		
310			○	相続税法総合Ⅲ	相続税および贈与税の規定、申告について総合的・実践的に学ぶ	4前	6	○	△		○		○		
311			○	法人税法総合Ⅲ	法人税法に基づいた計算技術習得を目的とした対策を行う。	4前	6		○		○		○		
312			○	消費税法速習総合Ⅲ	納税義務判定を含む確定申告書の納付（還付）税額算出までの流れを学ぶ。	4前	3		○		○		○		
313			○	国税徴収法総合Ⅲ	第二次納税義務を中心とした国税徴収法の理論を学ぶ。	4前	3	○	△		○		○		
314			○	簿記論入門Ⅴ	簿記一巡・商品の流れの入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	4前	1	○			○		○		
315			○	財務諸表論入門Ⅴ	会計学の実践を学ぶ	4前	1	○	△		○		○		
316			○	消費税法入門Ⅴ	売上取引を中心とした消費税の可否区分の税法理論を学習する。	4前	1	○			○		○		
317			○	相続税法入門Ⅴ	相続税および贈与税の概要実践を学ぶ	4前	1	○	△		○		○		
318			○	法人税法入門Ⅴ	法人税法の計算方法の理解を目的として実践的な知識を学ぶ。	4前	1	○			○		○		
319			○	消費税法速習入門Ⅳ	売上・仕入取引についての消費税の可否区分の税法理論を学習する。	4前	1	○			○		○		
320			○	簿記論基礎Ⅶ	特殊商品売買・金融商品の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	4後	4	○			○		○		
321			○	財務諸表論基礎Ⅶ	会計基準の実践を学ぶ	4後	4	○			○		○		
322			○	消費税法基礎Ⅵ	控除税額や納税義務の有無の判定を中心とした税法理論を学習する。	4後	4	○			○		○		
323			○	相続税法基礎Ⅵ	相続税、贈与税の実践的な問題の理解	4後	4	○	△		○		○		
324			○	法人税法基礎Ⅵ	圧縮記帳の設定方法を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	4後	4	○			○		○		
325			○	消費税法速習基礎Ⅳ	仕入税額控除及び国境を越えた役務の提供を中心とした税法理論を学習する。	4後	1	○			○		○		
326			○	簿記論基礎Ⅷ	固定資産・有価証券の入門知識及び論理的な思考を基に、文章問題を解答する。	4後	2	○			○		○		
327			○	財務諸表論基礎Ⅷ	金融商品取引法の実践を学ぶ	4後	2	○			○		○		
328			○	消費税法基礎Ⅶ	課税標準や簡易課税制度を中心とした税法理論を学習する。	4後	2	○			○		○		
329			○	相続税法基礎Ⅶ	相続税、贈与税の実践的な知識を網羅し文章問題を解答する。	4後	2	○	△		○		○		
330			○	法人税法基礎Ⅶ	スピンオフ税制を中心とした法人税法の体系を学ぶ。	4後	2	○	△		○		○		
331			○	消費税法速習応用Ⅳ	納税義務の有無の判定や、仕入税額控除の特例を中心とした税法理論を学習する。	4後	2	○			○		○		

332			○	国税徴収法基礎Ⅳ	第三者等の権利保護を中心とした税法理論を学ぶ。	4後	2	○			○		○		
333			○	短答式対策上級総合Ⅳ	模擬試験形式による効果測定	4前	1		○		○		○		
334			○	管理会計論応用演習Ⅲ	難易度の高い問題や切り口の異なった多彩な問題を解くことで応用力をさらに養う	4前	1		○		○		○		
335			○	財務会計論応用演習Ⅲ	数学的な応用知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	4前	2		○		○		○		
336			○	企業法応用演習Ⅲ	出題の意図に沿った金融商品取引法分野の正確な記述解答を図る演習	4前	1		○		○		○		
337			○	監査論応用演習Ⅲ	解答の記述構成など報告論分野の記述レベルを引き上げを図る演習	4前	1		○		○		○		
338			○	経営学応用演習Ⅲ	戦略論に関する知識のインプット及びアウトプット力の向上を図る演習	4前	1		○		○		○		
339			○	租税法応用演習Ⅲ	論理的な思考を用い消費税法に関する重要論点のアウトプット力の向上を図る演習	4前	1		○		○		○		
340			○	財務会計論簿記上級Ⅳ	キャッシュ・フロー計算書に関する応用的な会計処理を学ぶ	4前	2	○	△		○		○		
341			○	財務会計論財表上級Ⅲ	連結財務諸表の作成に関する基礎及び応用概念を学ぶ	4前	1	○	△		○		○		
342			○	管理会計論上級Ⅲ	原価計算基準を理解し、原価計算システムが経営管理目的に有用な情報を提供できることをより深く学ぶ	4前	2	○	△		○		○		
343			○	企業法上級Ⅳ	会社法に関連する商法総則、商行為法について学習することで会社法全体に対する理解を深める	4前	1	○	△		○		○		
344			○	監査論上級Ⅳ	財務諸表の監査証明業務に関して、監査実施論及び監査報告論を中心に、理論的裏付けも含めて学ぶ	4前	1	○	△		○		○		
345			○	財務会計論簿記計算特訓Ⅲ	連結キャッシュ・フロー計算書に関する実践的な会計処理を学ぶ	4前	1	○	△		○		○		
346			○	管理会計論計算特訓Ⅲ	個別論点問題や総合問題を演習することで、基礎知識の理解を深める	4前	1	○	△		○		○		
347			○	財務会計論簿記上級演習Ⅴ	数学的な基礎知識を基に、応用問題の解答を行う	4前	1		○		○		○		
348			○	管理会計論上級演習Ⅴ	基礎的な総合問題を解くことで、管理会計の体系や構造をさらに理解する	4前	1		○		○		○		
349			○	管理会計論直前演習Ⅲ	試験委員固有の論点を意識しながら、論理的な思考力と文章表現力を磨く	4前	1		○		○		○		
350			○	財務会計論直前演習Ⅲ	数学的・論理的な思考を基に、実務的な総合問題の解答を行う	4前	2		○		○		○		
351			○	企業法直前演習Ⅲ	金融商品取引法の横断的に係わる規定から出題される問題へのアプローチ方法を習得する演習	4前	1		○		○		○		
352			○	監査論直前演習Ⅲ	監査報告論に関する応用的な知識を事例を用いて記述式で問題解答を行う	4前	1		○		○		○		
353			○	経営学直前演習Ⅲ	戦略論に関する知識のアウトプット力の向上を図る演習	4前	1		○		○		○		
354			○	租税法直前演習Ⅲ	出題予想に基づく消費税法に関する試験独特の知識のインプットを図る演習	4前	1		○		○		○		
355			○	論文式対策総合Ⅲ	模擬試験形式による総合問題の効果測定	4前	1		○		○		○		

356			○	財務会計論簿記実践Ⅰ	特殊商品売買及び帳簿組織並びに本支店会計に関する実践的な知識を学ぶ	4前	2	○			○		○		
357			○	財務会計論財表実践Ⅰ	企業結合及び事業分離に関する基礎及び応用概念を学ぶ	4前	1	○			○		○		
358			○	管理会計論実践Ⅰ	論理的側面から考察し、実践的な知識を学ぶ	4前	2	○			○		○		
359			○	企業法実践Ⅰ	会社法上の主要な課題について、株式会社の設立を中心に学説や判例にも触れながらその解釈を学ぶ	4前	2	○			○		○		
360			○	監査論実践Ⅰ	公認会計士が担うべき役割を踏まえながら、四半期レビュー及び金融取引法監査を中心に、実践的な監査業務について学ぶ	4前	1	○			○		○		
361			○	財務会計論簿記上級演習Ⅵ	数学的・論理的な思考を用い、計算総合問題の解答を行う	4前	1		○		○		○		
362			○	管理会計論上級演習Ⅵ	試験委員固有の論点も含めた総合問題を演習することで計算力の向上を図る	4前	1		○		○		○		
363			○	TOEIC	TOEICテストの内容を理解し、語彙力、読解力、リスニング能力を強化する	4後	1	○	△		○		○		
364			○	TOEICⅡ	基礎知識を基に問題演習を行う	4後	1	○	△		○		○		
365			○	企業法実践Ⅱ	会社法上の主要な課題について、株式会社の機関を中心に学説や判例にも触れながらその解釈を学ぶ	4後	1	○	△		○		○		
366			○	監査論実践Ⅱ	公認会計士が担うべき役割を踏まえながら、公認会計士法や倫理規則に準じた監査業務について学ぶ	4後	1	○	△		○		○		
367			○	財務会計論簿記実践Ⅱ	基礎知識の定着度確認を目的とする演習	4後	1		○		○		○		
368			○	財務会計論簿記演習Ⅰ	数学的な基礎知識を基に、計算問題の解答を行う	4後	1		○		○		○		
369			○	管理会計論演習Ⅰ	問題演習を行うことで、管理会計論の計算力構築を図る	4後	1		○		○		○		
370			○	短答式対策上級総合Ⅴ	模擬試験形式による効果測定	4後	1		○		○		○		
371			○	社会保険労務士応用Ⅰ	労働経済・厚生労働白書・法改正を学ぶ	4前	6	○	△		○		○		
372			○	社会保険労務士総合Ⅰ	択一式直前対策演習を学ぶ	4前	6	○	△		○		○		
373			○	社会保険労務士総合Ⅱ	選択式直前対策演習を学ぶ	4前	6	○	△		○		○		
374			○	租税法実践Ⅰ	実務的な慣習や例外規定まで学習範囲を広げ、高度な知識を学ぶ	4後	1	○			○		○		
375			○	経営学実践Ⅰ	近代的経営学を中心に企業のあるべき姿を学ぶ	4後	1	○			○		○		
376			○	租税法実践Ⅱ	実務的な慣習や例外規定まで学習範囲を広げ、高度な知識を学ぶ	4後	1	○			○		○		
377			○	管理会計論基礎演習Ⅳ	計算問題と記述式問題を織り交ぜながら管理会計論の基礎論点を網羅した理解に繋げる	4後	1		○		○		○		
378			○	財務会計論基礎演習Ⅳ	数学的な基礎知識及び論理的な思考を基に、記述式問題の解答を行う	4後	2		○		○		○		
379			○	企業法基礎演習Ⅳ	出題の意図に沿った企業法全般の正確な解答を図る演習	4後	1		○		○		○		

380			○	監査論基礎演習Ⅳ	他規定や関連する法律に関する基礎知識について基本的な記述式問題を通じて定着させることを図る	4後	1		○		○		○		
381			○	経営学基礎演習Ⅳ	簡易的な記述式問題により近代的経営学に関する知識のインプットを図る演習	4後	1		○		○		○		
382			○	租税法基礎演習Ⅳ	計算問題を中心に租税法全般に関する重要論点のインプットを図る演習	4後	1		○		○		○		
383			○	財務会計論簿記実践Ⅲ	企業会計基準の詳細及び製造業に関する実践的な会計処理を学ぶ	4後	3	○	△		○		○		
384			○	財務会計論財表実践Ⅱ	外貨建会計及び四半期財務諸表の作成に関する基礎及び応用概念を学ぶ	4後	1	○	△		○		○		
385			○	管理会計論実践Ⅱ	論理的側面から考察し、実践的な知識を学び、管理会計システムに関して考察を述べる	4後	2	○	△		○		○		
386			○	企業法実践Ⅲ	会社法上の主要な課題について、株式会社の資金調達を中心に、学説や判例にも触れながらその解釈を学ぶ	4後	2	○	△		○		○		
387			○	監査論実践Ⅲ	公認会計士が担うべき役割を踏まえながら、保証業務や我が国の監査の歴史ついて学ぶ	4後	1	○	△		○		○		
388			○	会計士キャリアデザインⅣ	オフィスツアー、会計・監査の実務家の講演などを通じて会計専門職としての職業観を身につける	4後	1		○		○		○		
389			○	競争戦略論	競争優位を確立するための基礎理論と分析枠組みを学び、企業間競争の事例に当てはめて考察する。	4後	2	○	△		○		○		
390			○	国際経営論	国際経営の歴史と多国籍企業の組織・戦略を学び、異なる国や地域での事業拠点の配置と運営を考察する。	4後	2	○	△		○		○		
391			○	ブランドマネジメント論	ブランド戦略、価値創造、ブランド要素や経験価値を学び、競争優位を支えるブランド構築を理解する。	4後	2	○	△		○		○		
392			○	金融論	証券化や投資信託など現代の金融の仕組みを理解し、金融機関の役割や金融政策・規制を学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
393			○	流通システム論	小売業・卸売業等の企業活動を事例から捉え、流通システムの構造と発展に関する理論を学ぶ。	4前	2	○	△		○		○		
394			○	マーケティング論	企業事例を通じ、市場分析、標的市場の選定、ポジショニング、マーケティング施策の基礎を学ぶ。	4後	2	○	△		○		○		
395			○	イノベーション論	新製品開発、組織、経営戦略、価値創造などの視点から、企業経営における革新の役割を学ぶ。	4後	2	○	△		○		○		
396			○	経営管理論	組織設計、経営戦略、資源管理、リーダーシップや組織変革を通じ、現代の経営管理の理論を学ぶ。	4後	2	○	△		○		○		
397			○	経営組織論	組織の基礎理論、組織構造と設計、内外環境との関係を理解し、組織戦略や組織変革を学ぶ。	4後	2	○	△		○		○		
398			○	消費者行動論	購買動機やブランド選択を題材に、消費者心理と行動の理論、分析方法を体系的に学ぶ。	4後	2	○	△		○		○		
399			○	現代商品論	モノとサービスの特性を踏まえ、商品の品質、価格、標準化競争やコモディティ化を体系的に学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
400			○	経営学史	主要な経営学説とその成立背景を学び、企業経営の現代的課題を考えるための知識を身につける。	4通	2	○	△		○		○		
401			○	財務諸表論	貸借対照表、損益計算書、キャッシュ・フロー計算書等を通じ、財務会計と企業の経営状況を理解する。	4後	2	○	△		○		○		
402			○	統計分析入門	統計学の基礎理論を使い、データの整理・要約・傾向把握から意思決定に役立つ分析手法を学ぶ。	4前	2	○	△		○		○		
403			○	ＡＩ・データサイエンス基礎理論	データの取得・管理、相関・回帰分析、機械学習やAIなど、データサイエンスの基礎を学ぶ。	4前	2	○	△		○		○		

404			○	産業システム論	経済学理論を産業や市場に応用し、消費者・生産者の行動、産業構造と企業の意思決定を分析する。	4通	2	○	△		○		○		
405			○	ビジネスデータ分析	統計学と統計手法の基礎を学び、統計ソフトRを用いたデータ分析を通じて実践力を身につける。	4前	2	○	△		○		○		
406			○	経営情報論	DX、ICT、ビッグデータ等の技術革新が企業経営に与える影響と活用方法を理論・事例から学ぶ。	4前	2	○	△		○		○		
407			○	リーダーシップ論	リーダーシップの主要理論と多様なアプローチを学び、現代の組織に必要な指導・支援のあり方を考える。	4通	2	○	△		○		○		
408			○	企業倫理と社会的責任	企業統治の基本を学び、不祥事防止、企業価値向上、利害関係者との関係管理を理解する。	4通	2	○	△		○		○		
409			○	マーケティング調査	調査課題の設定から質問票作成、データ収集・分析、報告までの調査過程を実践的に学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
410			○	デジタルマーケティング	SNSやネット広告等を活用したマーケティングの理論・戦略を学び、消費者行動の視点から分析する。	4通	2	○	△		○		○		
411			○	中小企業論	日本経済における中小企業の役割や地域貢献を捉え、経営課題と中小企業政策を考察する。	4前	4	○	△		○		○		
412			○	経営分析論	財務諸表や経営指標を用い、企業の安定性・収益性・生産性・成長性を分析して経営課題を把握する。	4通	4	○	△		○		○		
413			○	組織行動論	組織内の人間の心理・行動を理解し、動機づけやリーダーシップを通じた人材管理を学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
414			○	生産管理論	品質・コスト・納期のバランスを踏まえ、競争力や顧客満足につながる生産管理の基礎理論を学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
415			○	戦略的行動論	ゲーム理論の事例と応用モデルを分析し、企業間競争に見られる戦略的行動を理論的に理解する。	4通	2	○	△		○		○		
416			○	リスクマネジメント論	リスクの特定・評価、対応・資金手当てを学び、企業の経営戦略に沿ったリスク管理方法を習得する。	4通	2	○	△		○		○		
417			○	経済学応用	情報とインセンティブの問題を経済学から考え、契約理論、モラルハザードなどを学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
418			○	現代会計基準論	国際財務報告基準の国内外の動向と日本の会計基準を概観し、各基準の背景と内容を理解する。	4通	4	○	△		○		○		
419			○	コストマネジメント論	マーケティングの基礎と企業事例を学び、市場分析や標的設定、マーケティング施策を理解する。	4通	4	○	△		○		○		
420			○	原価計算論	原価情報の役割と活用方法を理解し、財務諸表作成や経営管理に必要な原価計算手続と理論を学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
421			○	管理会計論	管理会計の理論と手法を学び、利益計画・経営戦略の策定や実行への活用を理解する。	4通	2	○	△		○		○		
422			○	意思決定会計論	研究開発、設備投資、企業買収などの戦略的意思決定に役立つ会計情報の作成・活用方法を学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
423			○	財務会計応用Ⅰ	財務会計の制度と理論を学び、個別財務諸表の基本項目や会計基準の考え方を理解する。	4通	2	○	△		○		○		
424			○	財務会計応用Ⅱ	金融商品、リース、減損、退職給付、組織再編、税効果、連結財務諸表などの会計基準を学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
425			○	ＩＴリテラシー基礎Ⅰ	C言語を通じてプログラミングの基礎と基本技法を学び、アルゴリズムの構造と実装を理解する。	4通	4	○	△		○		○		
426			○	ＩＴリテラシー基礎Ⅱ	Pythonを用い、AI開発や機械学習・深層学習で必要となる基本的なプログラミング技術を学ぶ。	4通	4	○	△		○		○		
427			○	ＩＴリテラシー基礎Ⅲ	関係データベースの基礎理論、SQL、設計手法を学び、データベースの操作と活用を習得する。	4通	2	○	△		○		○		

428			○	ＩＴリテラシー基礎Ⅳ	システム設計からテスト、保守までの基礎知識を学び、ExcelのVBAによるプログラミングを習得する。	4通	2	○	△		○		○		
429			○	ＩＴリテラシー応用Ⅰ	ExcelとVBAマクロを使ってデータベースを構築し、高度なデータ分析の実践的技法を学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
430			○	ＩＴリテラシー応用Ⅱ	経営情報システムの特徴を理解し、ICT活用に必要なシステム設計・管理等の基礎理論を学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
431			○	ＩＴリテラシー応用Ⅲ	Java言語の変数、配列、条件分岐、反復などの文法と動作を理解し、プログラミング技術を習得する。	4通	2	○	△		○		○		
432			○	民法Ⅰ（総則・物権）	民法総則・物権の基本概念、条文、制度趣旨と要件・効果を理解し、判例や学説を通じて学ぶ。	4通	4	○	△		○		○		
433			○	民法Ⅱ（債権・親族相続）	民法の債権・親族・相続分野の基本概念と制度を学び、判例や学説を通じて理解を深める。	4通	2	○	△		○		○		
434			○	商法総則・商行為法	企業と商取引に関する商法の規定を学び、民法との関係や法令順守の重要性を理解する。	4通	2	○	△		○		○		
435			○	会社法	株式会社の設立・運営、株式、役員、株主総会、企業統治等に関する会社法の制度を学ぶ。	4通	4	○	△		○		○		
436			○	租税法Ⅰ	租税の意義、主な税目、租税法の基本的な考え方を学び、実務対応に必要な基礎を習得する。	4通	2	○	△		○		○		
437			○	租税法Ⅱ	法人税法の基本概念と制度の仕組みを学び、課税上の問題や実務に必要な知識を身につける。	4通	2	○	△		○		○		
438			○	行政法総論	行政法の基本原理、行政行為や行政指導の規律、情報公開・行政手続の制度を判例とともに学ぶ。	4通	2	○	△		○		○		
439			○	卒業論文Ⅰ	研究テーマの設定、研究計画の作成、調査方法、文献整理を学び、卒業論文の構想と準備を進める。	4通	2	○	△		○		○		
440			○	卒業論文Ⅱ	設定した研究テーマと計画に基づき、調査・考察を進め、卒業論文の執筆から完成・提出まで行う。	4通	2	○	△		○		○		
合計					440	科目			797	単位							

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：	下記に定める授業時間（単位）の履修及び所定の授業科目の成績評価に基づき卒業審査により行い、認定者には校長が卒業証書を授与する。 124単位	1学年の学期区分	2 期
履修方法：	授業は、講義・演習・実習もしくは実技のいずれかより又はこれらの併用で行うものとする。 学業成績は、授業科目ごとに行う定期試験のほか、授業科目により中間試験や授業内に行う効果測定、課題の提出等により評価する。 学業成績の判定は、秀、優、良、可、不可の5種をもってこれを表し、秀は90点以上、優は80点以上、良は70点以上、可は60点以上、不可は60点未満とする。 授業科目の成績は、前項の5種で表すと共に、それぞれの評価に対して、別に定める基準により GP（Grade-Point）を与える。 授業科目を履修し、各科目の成績を判定の上、秀・優・良・可を取得した学生には所定の単位を与える。	1学期の授業期間	22 週

（留意事項）
1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
2　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。